岩国市立周東中学校　学校だより

かがやき

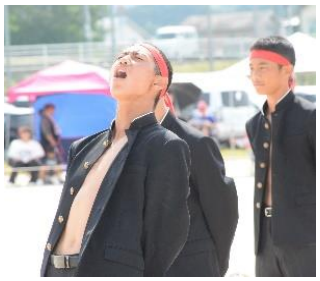
【周東地区小中一貫教育目標】　『ふるさとを愛し　心豊かに　たくましく生き抜く　児童生徒の育成』

令和6年１０月4日

☆第４９回秋季大運動会（9/28）

今年のスローガン『OVER THE TOP～輝動で絆をつなぐ日本一の中学校～』のもと、運動会を盛大に実施することができました。今年も生徒が主体性を発揮し、笑顔と涙が溢れた感動のある運動会になりました。総合の部は「白隊」、応援の部は「赤隊」が優勝を果たしました。各隊をまとめた３年生の応援リーダーの皆さん、ご苦労様でした。保護者や地域の皆様、ご声援・ご協力、ありがとうございました。

【運動会を終えて（各隊長から）】



♠赤隊男子隊長：杉山　輝　君

僕は小さい頃から、運動会で隊長をやるのが夢でした。でも実際になってみて、みんなに教えたりするときに話を聞いてもらえなかったり、ちゃんと指示を出せなかったりして、一度隊長をやめようかなと思った時もありました。でも、ある先生からのアドバイスの言葉で、今まで以上に適切な指示を出せるようになってきました。それからみんなは、合い言葉の「切り替え」を意識して練習に取り組むようになり、最後には応援の部で優勝というすばらしい結果を出すことができ、今までで一番の思い出になりました。周東中学校の生徒は、最高の仲間です。

♥赤隊女子隊長：田中　真穂　さん

最初は、隊長として上手くできるか不安でいっぱいだったけど、練習を重ねるにつれて、みんな声を出してくれたり、動きも速くしてくれたので指示が出しやすかったです。約２週間の練習期間でしたが、あっという間に過ぎました。本番が近くなっていくにつれて不安や緊張が高まったけど、本番を全力でやりきれて赤隊のメンバーには感謝だし、一生心に残る思い出になりました。本当にありがとうございました。

♠白隊男子隊長：向井　洋介　君

僕は白隊隊長と実行委員長として、自分がリードしなくてはと思い、毎晩次の日の予定を立てたり、自分が一番大きな声を出したり、無理をしてでも運動会を成功させようと思っていました。けれど運動会週間になると無理をしたせいか、声ががらがらになったり、頭が痛くなったりしました。だから立野さんや他の応援係にみんなをリードしてもらい、本番を万全の状態で迎えることができました。仲間と協力することの大切さが今回の運動会でよく分かりました。

♥白隊女子隊長：立野　詩恵瑠　さん

私は隊長としてはじめは指示を出すのが下手で思うようにいかないことがあったけど、たくさんの人の支えのおかげで、練習を重ねていくうちに指示を上手に出すことができるようになって、とても良い経験をしたと思います。応援の部で優勝することはできなかったけど、白隊のみんなとたくさん協力して日本一の運動会にすることができました。私の中で一番思い出に残る最高の運動会でした。白隊のみんな、最後までついてきてくれて、ありがとう。

※「学校だより」のカラー版は、周東中ホームページをご覧ください。（文責：校長　清　寿光）